

医師の意見書

主治医の皆さまへ

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の作成をお願いいたします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となってからの登園であるようご配慮下さい。

意 見 書		
かずみ保育園園長 殿		
園児名 _____		
病名 「 _____ 」		
年 月 日 から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と		
判断致します。 _____ 年 月 日		
医療機関 _____		
医師名 _____ ⑩又はサイン		

○ 医師が記入した意見書が望ましい感染症

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現後 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前 24 時間から発病後 3 日程までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ 解熱した後 3 日を経過するまで
風疹	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水疱（みずぼうそう）	発疹出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺膨張後 4 日	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ 全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157・O26・O111 等）		症状が治まり、かつ 抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

